## 元戦車中隊長の模型部屋 第21回

皆さん、メリークリスマス!今年もクリスマスがやってきましたね。色々大変な年ではありましたが、来年も新型コロナウィルスに負けないように頑張りましょう。さて、クリスマスといえばプレゼントですよね。意地悪なサンタは大人の私にはプレゼントをくれないので毎年自分で買っているのですが、20数年前の12月のある日、模型店で今回紹介する戦車を見つけ、クリスマスに買おうと楽しみにしていたら数日後売れてしまい、店頭から消えてしまいました。それっきりずっと入手できずに諦めていたのですが、今年の秋にリサイクルショップで当時の値段よりも安く売られているのを発見!食費を削って即購入!!で、今回紹介するのは・・・



このキットはかなり前に発売されたものですが、それ以前に陸自仕様のM4戦車を作るには、イタレリ社の車体にタミヤ社の足回りを使って諸所改造を施さなければなりませんでした。私がこのキットを見つけたのは平成8年頃だったかな?それ以来見ることがなかったので、私には「幻のキット」でした。しかし、このキットの評判はすこぶる悪く「かなり作りにくい、手を加えないと…」と仲間のモデラーさん達から色々聞いており、今回はその洗礼を受けることとなりました・・・









そのまま素組で行けるだろうと思っていましたが、車体下部の転輪取付位置を削り取り、説明書で示された位置に自分で計測して取り付けたり、車体に隙間が出来たり、砲塔基部の防水キャンバスがないので自作しなければならなかったり、履帯が組み立て式なのですが合いが悪くて苦労するなど・・・他のキットと並行して作っていたせいもありますが、完成までに約2カ月かかりました。噂通りで久しぶりに疲れるキットでした。



防水キャンバスは実車写真を見ながら取付金具を鉛線とプラ板の細切りで作成し、その間をパテとプラリペアという流し込みの樹脂を使用して表現しました。たるみが少なくなってしまい、布のシワがぼんやりとしてしまいました。次回への反省事項です。陸自のM4は必ずキャンバスが取り付けられているので、この工作は避けては通れません。





予備履帯の部品がなかったので、履帯の余り部品を使用して、プラ板と伸ばし ランナーで取付金具を作成しました。これも実車写真を見て作ったのですが、取 り付け場所が車両によって異なっているようです。



今回は偽装の樹木を取り付けようと、秋葉原で購入した「葉っぱ」が型取れる 穴あきパンチを使用して色紙を使って作ったのですが、娘達から「…なにこれ? ハート形の板は何?」グムムッ!大失敗!





その次は、様々な濃緑色を吹き付けた薄いコピー用紙をパンチで型取りし、娘にも手伝ってもらい一枚一枚爪楊枝で葉に丸みをつけました。





完成した葉を百均で売っていたハーバ リウム用のかすみ草のドライフラワーを 着色して一枚一枚取り付けていきます。

・・・まさに苦行!





で、完成した樹を戦車に差し込んだり取り付けたりしていきます。おお!断然 リアル!手伝ってくれた娘に感謝(笑)



さらに、フィルタリング 塗装なるものにチャレンジ してみました。一枚一枚専 用塗料を使用して濃淡をつ けていきます。

模型専門誌に掲載されていた手法をアレンジしてみましたが、やはり手をかけた分、結果は付いてきますね。しかし、この作業工程も長かった・・・





履帯にはピグメントを塗りつけ、その隙間から土砂で研磨された履帯の「逆八の字」のグローサーが覗いた表現を作ってみました。



せっかく作った「葉っぱ」ですから一枚も無駄にはしません。木から落ちた葉は、 車体のいたるところに堆積します。特に、風の流れが止まりがちな砲塔基部や各種 ハッチ周りに葉っぱがなぜか集まります。また、古い車体ですから錆の表現も忘れ ません。パステルコンテで過度にならない程度に錆を付着させます。



写真を少しセピアっぽく加工して昭和初期のカラー写真みたいにすると・・・ おお!警察予備隊員募集ポスターの完成(笑)



ご覧の皆様、今年も1年模型部屋にお付き合い頂きありがとうございました! それでは、よいお年を!